教師が「話す」授業から　教師が「みる」「きく」「つなぐ」授業へ

「学びの変革」通信

福島県教育庁
いわき教育事務所
学校教育課
No.２１　Ｒ８．１１．２６

第２回理科授業力アップ研修会

１１月１３日（金）に小名浜第二小学校を会場として、第２回理科授業力アップ研修会（イノベーション人材育成授業研修会）が開催されました。



【以下、学習指導案より】
１　単元名　「大地のつくりと変化」
２　単元について
（略）児童が、土地やその中に含まれている物に着目して、土地のつくりやでき方を多面的に調べる活動を通して、土地のつくりや変化についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に**より妥当な考えをつくりだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する**ことがねらいである。
（略）H子は「ネットで調べるとすぐに答えが出るから面白くないよ。**自分たちで考えた実験をすること**で、実際にどうなるのかを確かめたい」と発言した。H子の発言をきっかけに、モデル実験のアイディアが生まれ、実験を通して問題を解決することができた。結論を出したH子は単元末に「やっぱり自分で考えた方法で結論が出せると嬉しい」と話していた。H子のように**自然の事物・現象に進んで関わり、問題を科学的に解決しようとする子ども**がいる。
（略）子どもたちが発想した方法によって得られた実験結果や導いた結論に対して**専門家の視点から評価や助言を受けたりする場面を設定**する。専門的知見をいただくとともに、自分たちの問題解決の過程や導き出した結論が、科学的に妥当であると価値付けられる経験を通して、問題を科学的に解決することの面白さや価値を学級全体に広げるとともに、科学的に解決するよさを実感させることで、科学的に探究するための資質・能力を育んでいきたい。

いわき市石炭・化石館の学芸員を外部講師として招聘して、地層のでき方について学んだプロセスを価値付けていただいたり、実際に地層から出てきた化石を紹介してもらったりしました。



イノベーション人材育成推進教員による算数・数学科授業研究会



１２月１０日（木）に藤間中学校を会場として、算数・数学科授業研究会が行われます。案内につきましては、「令和８年度算数・数学科イノベーション人材育成推進教員による第３回算数・数学科授業研究会（中学校）の開催について（依頼）（令和８年１０月２２日付け８教い第１３８３号）」で発出をしています。数学科の教員のみではなく、幅広い参加を募集しております。**数学の授業を通して、児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善**をしていきましょう。
また、１月２１日（木）には、好間第一小学校を会場として、第４回算数・数学科授業研究会が実施されます。この授業研究会では、イノベーション人材育成推進教員による授業公開はもちろん、国立教育政策研究所　教育課程研究センター研究開発部学力調査官（併）　教育課程調査官　小山　雅史　様よりご講義いただきます。学習指導要領改訂を見据えた内容も聞けると思いますので、案内が届きましたら、積極的な参加をお願いいたします。

各種訪問、ご活用ください（再掲）



10 月 27 日（火）の第３回管内校長会でもアナウンスしましたが、県教委事業を授業改善にお役立てください。
⑴　学力向上支援アドバイザー事業
（令和８年４月 17 日付け８教義第 206 号）　※ 2/26 まで
⑵　算数・数学授業づくり訪問
（令和８年４月 14 日付け８教義第 169 号）　※ 2/26 まで
⑶　いわき教育事務所指導主事による「学校・教職員のニーズに応える要請訪問」（令和８年４月２２日付け８教い号外）